

園芸デザイン部では、ハーブを利用したガーデンの制作に取り組んでいる。この花壇で使用しているハーブを利用したいと考え、研究をスタートした。

制作管理しているハーブガーデン

園芸デザイン部では、ミツバチが採利用する植物を使用したガーデンの制作に力を入れてきた。このガーデンにはレモンを中心にしてレモン系のハーブ（レモンバジル・レモンタイム・レモンバーム・レモングラス等）を組み合わせたもの（「ハニービーレモンガーデン」と名称）や、セリ科のハーブ（フェンネル・ディル・アシタバ・ハマボウフウ・トウキ）を組み合わせたもの、ワイルドローズ（ハマナス等のローズヒップを利用できるバラ）を組み合わせたガーデン等を制作してきた。これらのガーデン植物の中で特に注目しているのがホーリーバジルである。このハーブを使用したガーデンを製作しながら、ホーリーバジルの利用方法の研究を行った。

【ホーリーバジル (holy basil)】 シソ科のハーブ。バジルと言う名前であるが、通常のバジルとは形態・香りが異なる。花期が長く、摘芯を適切に行えば初夏から晩秋まで開花が持続できる。サンスクリット語ではトゥルシー(tulsi)とも呼ばれ、様々の癒し効果があるため、インドのアーユルヴェーダで数千年にわたり使われて来た。日本においては、まだ一般の人々には浸透しておらず、ホーリーバジルの存在が認知されていない。強い芳香はストレスへの順応を助け、アーユルヴェーダでは一種の「不老不死・寿命を伸ばす薬」と信じられている。



ホーリーバジル

ホーリーバジルを用いたガーデンの制作

2016年に園芸デザイン部で、各種バジルの栽培試験を行いガーデンの制作に適したバジルの選別を行った。その結果、長期間花が咲くホーリーバジルに注目した。本年度はホーリーバジルを中心にしてガーデンを制作・管理を行った。



バジルガーデン

2017年6月下旬 梅雨明け前にバジルの苗を定植した。

2017年11月下旬 花壇整理。

この間に、花がら摘みを3回（8月上旬・9月上旬・10月初旬）行い、11月下旬まで長期間花を咲かせる事が出来た。



苗の定植風景

ホーリーバジルの利用

【ハーブティーの製造】

ホーリーバジルは他のバジルと異なり、葉を乾燥させても香りが残る特徴がある事が分かった。バジルティーとして利用されているのは、このホーリーバジルであるという資料も見つけた。

2017年8月3日・9月16日に、ホーリーバジルの葉を収穫し、洗浄後に乾燥させ保存した。

2017年12月8日にハーブティーを製造・試飲した。



乾燥させたホーリーバジル

まとめ

今回はホーリーバジルの加工品としてハーブティーのみしか試作が出来なかった。他のハーブとブレンドしたハーブティーやホーリーバジルのペースト・エッセンシャルオイルの抽出・利用等にも挑戦したい。ホーリーバジルは、花期が長く病害虫にも強い・整枝等の管理作業も簡単なので、ガーデンの材料として推薦できる植物である。今後注目される可能性があるハーブであり、継続研究を行いたい。

ホーリーバジルのハーブティーの作り方	
材 料	
ホーリーバジル(乾燥)	大きじ1(約1g)
お湯	500cc
作 り 方	
①	ポットにバジルの葉を入れる。
②	少しのお湯を入れ、バジルの葉を洗い捨てる。
③	定量のお湯を入れる。
④	5分ほど置いた後にカップに入れる